

吸着性は少ないが固形物及び油脂の吸着性に優れている。c. 冬春、春夏を通じて綿テレコの汚れ吸着性がよい。d. 30%テレコの結果のわるいのは、布地がほつれ易く、着用中減量したためと考えられ、試布として不適當である。e. 冬春及び春夏を一定地質で比べると、冬春は水分吸着量は極めて少ないが、固形物ならびに油脂の吸着は多い。

2. 木綿およびレーヨン肌着の汚れ吸着量の比較

愛知学芸大 平尾 あや

1. 先に油污れの繊維への吸収およびその除去に関する研究として、5報に涉って述べた。その際木綿は汚れ(水分・固形物・油脂)をよく吸着する結果を得たが、レーヨンにおいても特徴のある結果を得た。そこで今回は極めて一般的な木綿およびレーヨンの肌着地について、冬春用のもの4種(綿スムーズ、綿テレコ、30%テレコスフスムーズ)春夏用のもの4種(綿スムーズ、綿テレコ、30%テレコ、ビスコーストリコット)について汚れの吸着量を比較検討した。実験は女子3名につき昭和36年2月から同年6月迄の間に行なった。

2. 健康な成人女子3名につき、冬春(2~3月)、春夏(5~6月)に分け、4種宛の試布(中2種宛は夏冬兼用地質)を1組として一定肌着の背にとじつけ、試布の位置を変え1巡4回の着用実験を行ない前実験同様の測定法で、各々の汚れの比較を行なった。

3. a. 冬春用のスムーズは固形物の吸着性が特に優れている。b. 春夏用のビスコーストリコットは水分